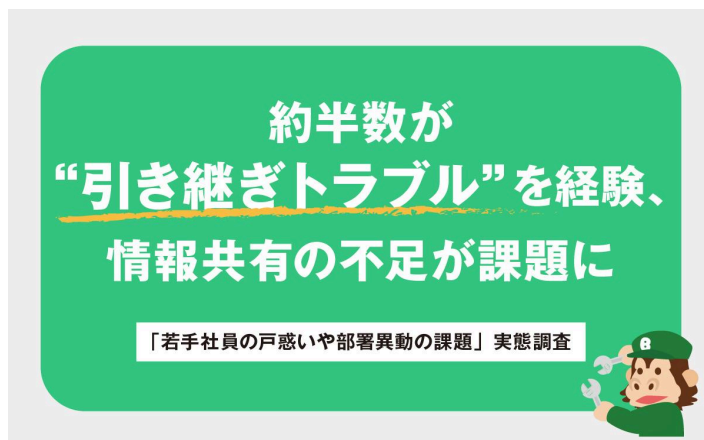


【業務引き継ぎは未だアナログ！？】約半数が“引き継ぎトラブル”を経験、 情報共有の不足が課題に

「若手社員の戸惑いや部署異動の課題」実態調査

株式会社ヌーラボ(本社:福岡県福岡市、以下ヌーラボ)は、20歳~25歳の若手ビジネスパーソン600人を対象に、「若手社員の仕事における戸惑いや部署異動の課題」について、調査しました。



■ 主な調査結果

- 約半数(47.8%)が「業務の引き継ぎで困った経験あり」と回答。新年度の異動や組織変更の影響で引き継ぎの質が低下し、業務の停滞や新担当者の適応遅れを招いている。
- 引き継ぎの課題のトップ3は、1位「情報共有の不足」(46.3%)、2位「タスクの不明瞭さ」(37.6%)3位「資料の管理不備」(37.3%)となっており、いずれも新担当者の業務適応を妨げる要因となっている。
- 引き継ぎトラブルを防ぐために重要な要素トップ3は、1位「コミュニケーションルールの策定」(31.2%)、2位「役割分担の明確化」(26.2%)、3位「タスクの見える化」(24.8%)。

4月の新年度スタートとともに、多くの企業では新入社員の受け入れや部署異動が行われます。新たなメンバーが加わることで職場に活気が生まれる一方、業務の引き継ぎがスムーズに進まず、「どこから手をつければいいのかわからない」「前任者からの情報が不足していて仕事が進まない」など、新しい環境に適応するための大きなハードルが生じることも少なくありません。

特に「引き継ぎ資料が整理されておらず、必要な情報がすぐに見つからない」「業務の流れが不透明で、誰に何を聞け

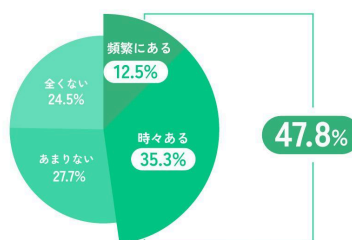
ばよいのか分からない」といった状況は、新入社員や異動者にとってストレスの要因となるだけでなく、チーム全体の生産性低下を招く可能性があります。

そこで今回、ヌーラボは20歳～25歳の若手ビジネスパーソン600人を対象に、新年度に頻発する「引き継ぎの混乱」や「業務管理の課題」に焦点を当て、若手社員のリアルな声をもとに、職場の実態と改善のヒントを探りました。職場における引き継ぎの実態について調査を実施。新年度に頻発する「引き継ぎの混乱」や「チームワークの課題」に焦点を当て、若手社員のリアルな声をもとに、職場の課題と改善のヒントを探ります。

■約半数が「業務の引き継ぎで困った経験あり」スムーズな引き継ぎができない理由とは？

「チームメンバーから業務を引き継ぐ際に困った経験はありますか？」という質問をしたところ、回答者の約半数(47.8%)が「引き継ぎで困った経験がある」と回答しました。

Q. チームメンバーから業務を引き継ぐ際に困った経験はありますか？



新年度の異動や組織変更が多い時期は、業務フローや担当者が変わりやすく、引き継ぎの質がその後の業務効率に大きく影響します。スムーズな引き継ぎが行われないと、新しい担当者が業務を把握するまでに時間がかかり、結果としてプロジェクトの進行遅延や業務負担の偏りが発生します。

■情報共有の不足が、引き継ぎの大きな壁に

引き継ぎに苦労した理由として最も多かったのは、「必要な情報が十分に共有されなかった」(46.3%)という課題でした。加えて、「過去のタスクや業務の内容が不明瞭だった」(37.6%)、「引き継ぎ資料が整理されておらず、見つけづらかった」(37.3%)といった情報管理の不備が、新担当者の業務適応を妨げる主な要因となっていることが明らかになりました。多くの企業では、「口頭での引き継ぎ」に頼るケースが依然として多く、マニュアルやデジタルツールを活用した業務履歴が適切に整備されていないことで、後任者が業務の流れを把握できず、手探り状態で進めざるを得ないという状況が生まれています。

Q. 引き継ぎに苦労した理由は？



この結果から、業務の引き継ぎにおいては「過去の業務履歴やタスクの流れを、デジタルツールで整理する仕組み」や「担当者が変わっても業務の継続性が確保できる体制」の整備が不可欠であることが分かります。

■引き継ぎトラブルを防ぐカギは「ルール・役割・見える化」

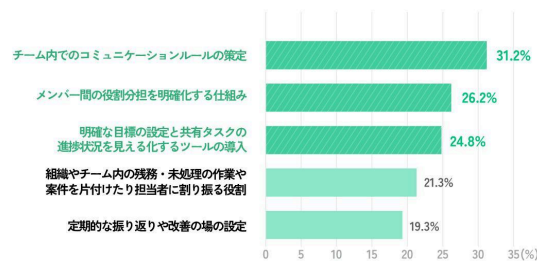
では、職場で「[チームワークマネジメント](#)」を強化し、スムーズな引き継ぎを実現するには何が必要なのでしょうか？

今回の調査では、引き継ぎを円滑に進めるために、以下の3つの要素が特に重要であることが分かりました。

1. 「チーム内でのコミュニケーションルールの策定」(31.2%)
2. 「メンバー間の役割分担を明確化する仕組み」(26.2%)
3. 「明確な目標の設定と共有、タスクの進捗が見える化するツールの導入」(24.8%)

これらを整備することで、業務の見える化が進み、新担当者が引き継ぎ直後からスムーズに業務を遂行できる環境が整います。

Q. 「チームワークマネジメント」を強化するために必要だと思うことは？



この結果は、チームのパフォーマンスを向上させるには、属人的な引き継ぎではなく、共通のルールと仕組みを整備することが不可欠であることを示唆しています。例えば、新しい担当者が業務を把握しやすいように「タスク管理ツールを活用した業務の可視化」「業務フローの標準化」「マニュアルやドキュメントの整備」を行うことで、引き継ぎの精度を向上させ、業務の停滞を防ぐことができます。特に、新年度のように組織変更が重なる時期は、チーム全体の連携を強化し、情報共有をスムーズに行うことが、生産性向上に直結します。

■「[チームワークマネジメント](#)」の強化が、新年度の引き継ぎトラブルを防ぐ

今回の調査から、新年度に頻発する引き継ぎの混乱や情報共有の課題が浮き彫りになりました。業務の属人化や情報の不透明さが、新入社員や異動者の適応を妨げ、チーム全体の生産性を低下させる要因となっています。しかし、こうした課題は「[チームワークマネジメント](#)」を強化することで解決できる可能性があります。チームワークマネジメントとは、チーム全体で情報を共有し、役割や進捗を可視化しながら目標達成に向けて業務を推進する手法です。適切なルールの整備、役割分担の明確化、タスクの可視化を行うことで、「誰が何をすべきかが明確になり、スムーズな引き継ぎが実現される」という環境を整えることができます。

新年度を迎える今、職場の引き継ぎトラブルを防ぎ、チーム全体の生産性を向上させるために、職場の情報共有や業務管理の仕組みを見直すタイミングではないでしょうか。

■ 調査概要

- 調査対象: 20歳～25歳のビジネスパーソン
- 調査手法: インターネットリサーチ
- 調査期間: 2025年1月27日(月)
- 有効回答数: 600サンプル

■ 本調査結果を使用される際のお願い

- 本調査結果を使用される際は、【株式会社ヌーラボ調べ】とご記載ください。
- ご使用の場合は、元のデータや画像を改変しないようお願いいたします。

■ プロジェクト・タスク管理ツール「Backlog」について



・Backlog サービスページ: <https://backlog.com>

「Backlog」は、3つの強みを有するプロジェクト管理・タスク管理ツールです。

1. 業界・業種を問わずお使いいただける親しみやすいデザインと操作性
2. タスク管理のみならず、Wiki、Git、ガントチャートなどの豊富な機能がオールインワン
3. 人数無制限のため、価格を気にせずチームメンバーを招待可能

2005年のリリース以降、多くのチームのコラボレーション促進に貢献してきました。現在、クラウド版 / オンプレミス版の2種類を提供し、世界で140万人以上のユーザーにお使いいただいています。

導入事例は「[導入事例「Backlog」の記事一覧](#)」からご確認ください。

■ ヌーラボが提供するサービスについて



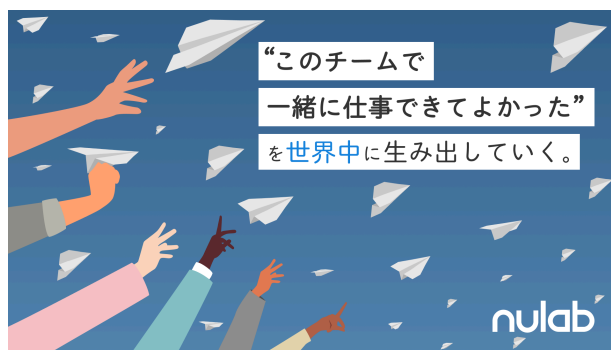
ヌーラボは、プロジェクト管理ツール「Backlog」、オンライン作図ツール「Cacoo」、組織の情報セキュリティ・ガバナンスを高めるための「Nulab Pass」を開発・提供しています。

・プロジェクト管理ツール「Backlog」: <https://backlog.com>

・オンライン作図ツール「Cacoo」: <https://cacoo.com/ja/home>

・組織の情報セキュリティ・ガバナンスを高める「Nulab Pass」:<https://nulab.com/ja/nulabpass>

■ 株式会社ヌーラボについて



本社	福岡県福岡市中央区大名一丁目8-6 HCC BLD.
東京事務所	東京都千代田区神田三崎町三丁目6-14 THE GATE 水道橋 7F
京都事務所	京都府京都市下京区突抜二丁目360
代表者	橋本正徳
ウェブサイト	https://nulab.com https://nulab.com/ja/about/careers/ (採用ページ)

■ この件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

株式会社ヌーラボ 広報担当 前田

TEL:050-3616-1015(担当直通) E-mail:pr@nulab.com

※ 本プレスリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。